

2019年7月4日

アジア・アフリカ言語文化研究所
科学研究費補助金基盤研究（S）
「社会性の起原と進化：人類学と霊長類学の協働に基づく人類進化理論の新開拓」
研究機関研究員募集要項

国立大学法人東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・科学研究費補助金基盤研究（S）「社会性の起原と進化：人類学と霊長類学の協働に基づく人類進化理論の新開拓」では、このたび研究機関研究員を募集いたします。文化/社会/生態人類学ないし霊長類社会・生態学の立場から社会性の起原と進化に関わる高度な研究能力を持ち、将来この研究分野での活躍が見込まれる研究者に一定期間アジア・アフリカ言語文化研究所を拠点として研究に従事していただき、本研究課題の一層の推進を図るとともに、人材養成に資することを目的としています。本研究課題は基幹研究人類学班のもとに運営されるものです。基幹研究人類学班は、さまざまな学問の領域を横断する「フィールドサイエンス」という「現地学」を構築することによって、臨地調査に関わる、主として文化/社会/生態人類学の国内・海外の研究者間の連携を目的として2010年4月1日より活動を開始した所内研究組織です（<http://coe.aa.tufs.ac.jp/kikanjinrui/index.html>）。

1. 応募資格

(1) 以下の条件を全て満たす者とします。

- a. 文化/社会/生態人類学または霊長類社会/生態学を専攻し、社会性の起原と進化に関する研究に関心を持ち、この分野の研究に貢献しうる者。
- b. 地域/分野を超えた研究者ネットワークの形成に積極的に関わる意志を持つ者。
- c. ホームページ運用に関する基本的能力を持つ者。
- d. 博士の学位を有する者。

※ ただし、正規の勤務を持っている場合は、本研究員としての勤務を始める前に退職すること。

※ (独)日本学術振興会の特別研究員との兼任はできません。

2. 勤務条件

(1) 本学非常勤職員就業規則及び給与規程に定めるところによります。

(2) 勤務時間は、原則として週30時間です。

(3) 給与（通勤手当含む。）は月約26万円前後支給（経歴等により増減がある。）されます。

賞与、扶養手当、住居手当、赴任手当、退職手当等は支給しません。雇用保険・社会保険適用あり。

(4) 雇用期間は2019年10月1日から2020年3月31日までとします。ただし、科学研究費補助金の研究期間内において最長3年間まで雇用期間を延長（更新）することを妨げないものとします。

3. 職務内容

研究業務を主として、科学研究費補助金基盤研究（S）「社会性の起原と進化：人類学と霊長類学の協働に基づく人類進化理論の新開拓」を中心とした本基幹研究が実施する研究会、国際ワークショップ、国際討論会、成果出版等の事業に関わる運営補助、および関連ホームページの運用を含む国内・海外研究者間の連携を促進する事業補助。

4. 募集人数 2名（文化/社会/生態人類学を専攻する者1名、霊長類社会/生態学を専攻する者1名）

5. 提出手続 提出書類は、下記「10. 問い合わせ先」まで書留郵便で提出してください。

締切日は、2019年8月16日（金）（必着）とします。

なお、封筒に『基幹研究人類学 研究機関研究員応募書類在中』と朱書きしてください。またご自身の専攻（「文化/社会/生態人類学」または「霊長類社会/生態学」）も朱書きしてください。

6. 選考方法 書類選考の上、必要に応じ、8月下旬頃に面接を実施。面接の際の交通費は本人負担とします。
7. 選考結果通知 2019年9月中旬(予定)
8. 採用予定年月日 2019年10月1日
9. 提出書類
 - (1) 履歴書(市販横書き用紙に準じるもの、写真貼付)
 - (2) 主要研究業績一覧
 - (3) 主要論文等3点以内(コピー可、返却しません)
 - (4) 研究履歴及び「社会性の起原と進化：人類学と霊長類学の協働に基づく人類進化理論の新開拓」における個人研究計画書(2,000字以内で具体的かつ簡潔に記入してください)
 - (5) 返信用定型封筒(応募者の住所・氏名を記載のうえ返信用切手を貼付)
10. 問い合わせ先
〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
共同研究拠点係
(質問につきましては、必ず文書またはe-mailでお願いします。電話によるお問い合わせには、お応えできません。)
e-mail: aajimu@tufs.ac.jp
Web ページ: <http://www.aa.tufs.ac.jp/>